

訪問看護普及啓発セミナー 「心に響く出会い」

テーマトーク

「訪問看護の現場で思うこと～心に響くできごと～」

訪問看護ステーションピンポンハート
訪問看護師 渡辺 弘美

1

事業所紹介①

- 住所……………札幌市手稲区曙2条3丁目4-28
- 開業……………11年目
- 従業員数………49名
- 事業理念………「ハート♡」と「ハート♡」のやりとりを大切に寄り添い丁寧なケアを心がける

2

事業所紹介②

●事業内容

訪問看護ステーションピンポンハート

- 予防から看取りまでの訪問看護サービス

ヘルパーステーションピンポンハート

- 高齢者や障がい者などの生活支援や身体介護

居宅ピンポンハート

- 在宅での介護に関わる相談

ピンポンホームほっこり

- 重度医療者、障がい者・要介護者向けの集合住宅

●訪問看護連携状況

・利用者数223人 ・主治医156人 ・ケアマネ104人

3

自己紹介



私53歳、夫、20歳、18歳の4人家族



道東出身、札幌在住28年目



趣味はヨガ



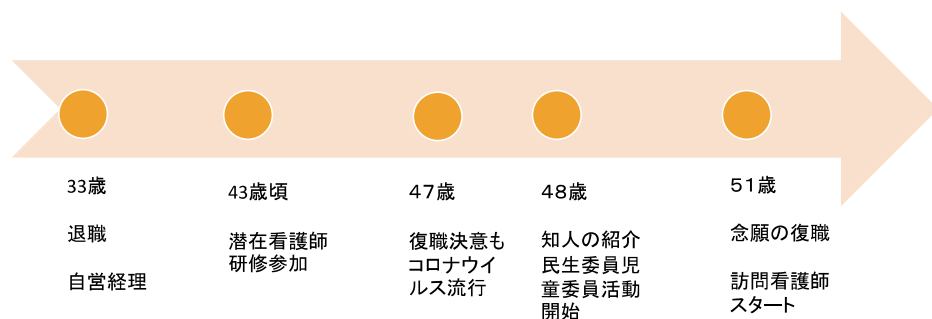
看護師歴14年(ブランク18年)、訪問看護師歴3年目



循環器内科1.5年、小児科1.5年、心臓血管外科8年

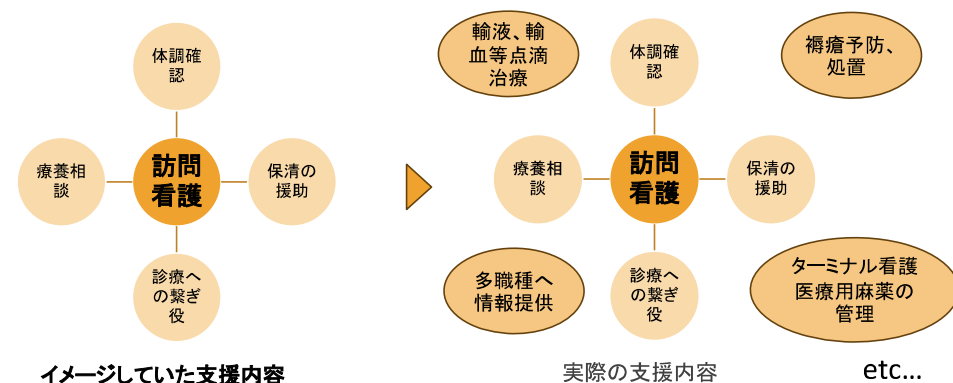
4

ブランク18年から復職までの道のり



5

訪問看護のイメージしていた違い



6

働く上で不安に思うこと

- 様々な方が療養.....聞いたことのない疾患、内服薬
- 基本1人で訪問.....その場で判断
次の訪問まで安全に生活できるか
- 在宅療養の環境.....医療機器や介護物品が十分に揃っていない
- 制度.....医療保険、介護保険、加算等複雑

7

自分で心がけたこと

- 様々な方が療養.....訪問の前後で、症例から疾患、治療、保険制度について学ぶ
- 一人で訪問.....わからない事や判断に迷うときは報告、相談
利用者様にも正直に伝え場合によっては時間を頂いて返答していく
- 在宅療養の環境.....五感と第6感(あれ?何かいつもと違う?)
想像力を大事にしてい
- 制度.....症例やケアマネージャーさんと情報交換

8

心に響いたできごと①

入職直ぐ、先輩看護師の方と同行訪問していたときの事例。

●事例紹介

64歳女性、夫と二人暮らし。子供は遠方に住んでいる。がんのターミナル期。
毎日の訪問をして自壊創の処置を行っていた。

●治療経過

自壊創は日に日に拡大していき、それに伴い痛みも増強。オピオイドの量も増量していた。訪問看護を開始してから約2ヵ月間の経過後、在宅で最期を迎えた方。

9

心に響いたできごと②

●訪問看護師の関わり

経過のスピードが速く、家族の方の心の準備が整わない状況だった。

●本人の思い～訪問開始頃は家に戻れば好きなようにできる。
なるべく家に居たい。夫に心配をかけている。

●夫の思い～妻がどうしたいかだけを考えたい。

看取りの時期が近付いた時、主治医、看護師から丁寧に説明されている。
遠方のご家族の方にも早めに連絡が出来ており、その説明のタイミングで最期を迎えていた。事例を通し、最期まで家に居たいという思いに寄り添い、細やかな支援方法を学んだ。訪問看護師の役割の大きさを実感した事例だった。

10

訪問看護で良かったと思うこと

- 利用者様、ご家族と寄り添いながら共に看護を提供できる事
- 「渡辺さん来てくれてありがとう！」「会えなくて淋しいよ」と名前を覚えてくれる事
- これから待ち受けている自分自身の親の介護の際に仕事の知識が役に立つ事

11

おわりに

今回このような機会を頂きありがとうございました。
長いブランクにて復職にはかなりの不安があり、勇気が必要でした。
丁寧に指導下さりここまで続けて来れたと思います。不安な事への挑戦は自分を成長できるチャンスと捉え、これからも精進していきたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました。

12